.ssh/configを管理する .ssh/configで管理する

Ken'ichiro Oyama Fusic Co.,Ltd. 2016.11.3

みなさん SSHしてますか?

わたしは SSHしてます



SSH & NEXT

- > FTP
- > SSH + パスワード
- > SSH + 公開鍵認証
- > 「SSHしたら負け」 <- たぶんここがNEXT
 - > Docker、EC2 Run Command、etc

"NEXT"ではないですが、

今日は"SSH + 公開鍵認証"で少しだけ役に立ちそうな話をします

Who

k1LoW

- > Ken'ichiro Oyama
 - > @k1LoW
- > Fusic Co.,Ltd. エンジニア
 - > 基盤ユニット テックリード
- > GitHub organizations
 - > fukuokarb / dotcake / emacs-jp / etc.
- > awspecというAWS用のテストツールを作って います
 - https://github.com/k1LoW/awspec

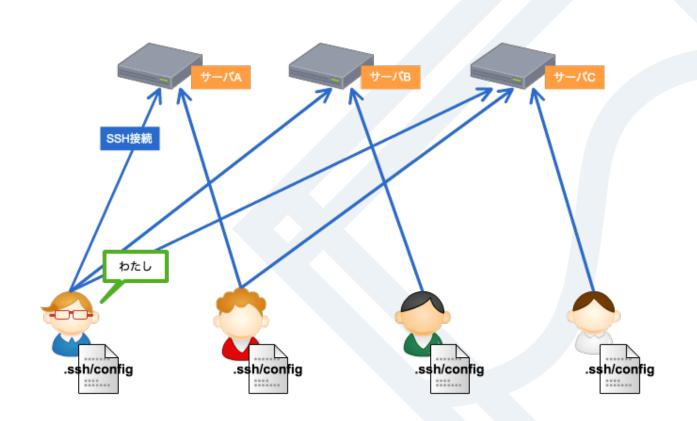


普段のわたし

- > 複数のプロジェクト
 - > 開発中
 - > 運用中
- > 複数のサーバ
 - > プロジェクト単位
 - > ロール単位(Web、DB、etc)
 - > 本番、ステージング、テスト

イメージ

> 複数のプロジェクトの複数のサーバにSSH



~/.ssh/config

- > SSH接続の管理をするための設定ファイル
 - > ~/.ssh/configはユーザごとの設定ファイル

Host github.com

- > User git
- Hostname github.com
- PreferredAuthentications publickey
- IdentityFile ~/.ssh/github_rsa

/home/k1low/.ssh/config

- > 管理しているサーバへSSH接続するための設定 を記載
- > 秘密鍵も .ssh/ 以下に配置
 - プロジェクトごと、ロールごと、サーバごとなどで分けることが多い
 - > id_rsaは使わない
- > 秘密鍵だけでなく、その他の接続設定も重要
 - > HostnametoUser
 - > ProxyCommandとか

.ssh/config どうやって管理していますか?

.ssh/configの管理

- > configのバックアップ/リストア
- > 秘密鍵のバックアップ/リストア
- > サーバ接続情報の追加/削除
- > チームメンバーへの共有
- > 踏み台サーバなど他サーバへの設置

configと秘密鍵に分かれていて 面倒

configは分割できないので メンバーへの共有も面倒

今のconfigとバックアップした configのマージも面倒

sconb

sconb

- "Ssh CONfig Buckup tool"
 - > .ssh/config専用のバックアップツール
 - > https://github.com/k1LoW/sconb
- > gem install sconb でインストール
- > ※本日も大変お世話になっているCONBUとは無関係です

使い方

バックアップ

```
$ sconb dump > ssh_config.json
$ cat ssh_config.json
  "github.com": {
    "Host": "github.com",
    "User": "git",
    "Hostname": "github.com",
    "PreferredAuthentications": "publickey",
    "IdentityFile": [
      "~/.ssh/github_rsa"
```

絞り込んでバックアップ

```
$ sconb dump example > ssh_config.json
$ cat ssh_config.json
  "example.com": {
    "Host": "example.com",
    "User": "k1low",
    "Hostname": "dev.example.com",
    "PreferredAuthentications": "publickey",
    "IdentityFile": [
      "~/.ssh/example_rsa"
```

リストア

```
$ sconb restore < ssh_config.json</pre>
Host github.com
  User git
  Hostname github.com
  PreferredAuthentications publickey
  IdentityFile ~/.ssh/github_rsa
$ sconb restore < ssh_config.json > ~/.ssh/cofing
```

秘密鍵も含めて1ファイル化

```
$ sconb dump --all > ssh_config_with_key.json
$ cat ssh_config_with_key.json
 "github.com": {
   "Host": "github.com",
   "User": "git",
   "Hostname": "github.com",
   "PreferredAuthentications": "publickey",
   "IdentityFile": [
    "~/.ssh/qithub_rsa"
   "IdentityFileContent": [
    },
```

秘密鍵のリストア

```
>$ sconb keyregen < ssh_config_with_key.json
>Regenerate ~/.ssh/github_rsa ...
>...
```

つまり ssh_config <-> JSON のコンバータ

パイプで各種UNIXコマンドとも 連携できる

jqを使ったssh_confg.jsonのマージ

> jq: JSONをいい感じに操作できるコマンド

.ssh/configを管理する sconbはおいしい

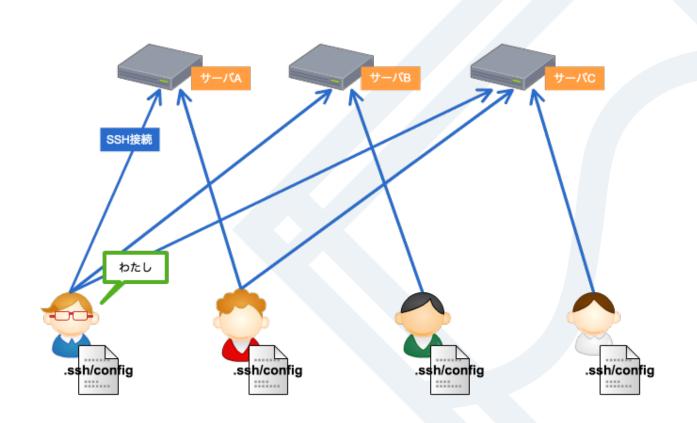
別の視点から

普段のわたし(再掲)

- > 複数のプロジェクト
 - > 開発中
 - > 運用中
- > 複数のサーバ
 - > プロジェクト単位
 - > ロール単位 (Web、DB、etc)
 - > 本番、ステージング、テスト

イメージ (再掲)

> 複数のプロジェクトの複数のサーバにSSH



突然の○penSSLの脆弱性発表

インベントリ情報

- > 「サーバにイントールされているパッケージの バージョン一覧を再度確認して欲しい」
 - > 現在稼働しているサーバ数十台
 - > まったく別の時期にまったく別のサービスを 構築している

- > 全部SSHでログインして確認。。。??そして その後まとめるの。。。?
- > ツラみがある。。。



koma

- > エージェントレスでリモートホストのインベン トリ情報を収集するツール
 - > https://github.com/k1LoW/koma
 - > 類似ツール: ohai / facter
- > gem install koma でインストール
- > `ssh` を `koma ssh` に変えるだけで、リモートホストのインベントリ情報をJSONで取得できる

koma ssh

```
$ koma ssh example.com
  "memory": {
    "swap": {
      "cached": "652kB",
      "total": "2097148kB",
      "free": "2091376kB"
   },
    "total": "1019956kB",
    "free": "255104kB",
    "buffers": "310644kB",
    "cached": "185748kB",
```

koma keys (収集できるインベントリ情報)

- > memory
- > ec2 (disabled)
- > hostname
- > domain
- > fqdn
- > platform
- > platform_version
- > filesystem
- > cpu

- > virtualization
- > kernel
- > block_device
- > package
- > user
- > group
- > service

koma run-command

```
$ koma run-command example.com,example.jp uptime
   "example.com": {
    "uptime": {
      "exit_signal": null,
      "exit_status": 0,
      "stderr": "",
      "stdout": " 00:18:10 up 337 days, 4:51, 1 user, load
average: 0.08, 0.02, 0.01\n"
   "example.jp": {
    "uptime": {
```

そう、.ssh/configが設定されていればね!

.ssh/configで管理する

ssh_config形式で管理する -ssh/configで管理する

koma with ssh_config

- > komaはssh_config形式のフォーマットを STDINから読み込んで実行することができる
 - > Vagrant上のOSのcpu情報を取得

```
$ vagrant ssh-config | koma ssh --key cpu
```

> sconbをでHostをフィルタリング

```
$ sconb dump dev.* | sconb restore | koma ssh
```

Vuls

Vuls

- > "VULnerability Scanner"
 - > バルス
- > Linux/FreeBSD向けの脆弱性スキャンツール
 - > Ubuntu、Debian、CentOS、Amazon Linux、RHELに対応
 - > 標準のTUIだけでなくVulsRepoというWebビューワもある
 - > NVDやJVNの脆弱性情報などを使用してスキャン
- > スキャン対象のサーバーへは "SSH" で接続
 - > TOMLで設定を記述

SSH。。。だと。。?

ssh_config_to_vuls_config

ssh_config_to_vuls_config

- ssh_config形式をVuls用のTOMLファイル形式 に変換
 - > sc2vcコマンド
 - > https://github.com/k1LoW/ssh_config_to_vuls_config
- > gem install ssh_config_to_vuls_config でインストール

```
$ cat ~/.ssh/config | sc2vc > vuls_config.toml
```

> (当然) sconbでフィルタリングも可能

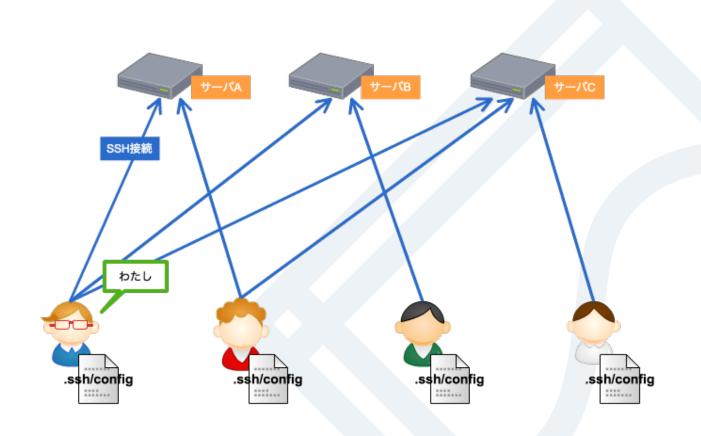
```
$ sconb dump dev.* | sconb restore | sc2vc > filtered_config.toml
```

```
.ssh/config -> JSON
JSON -> .ssh/config
JSON -> koma
JSON -> Vuls
```

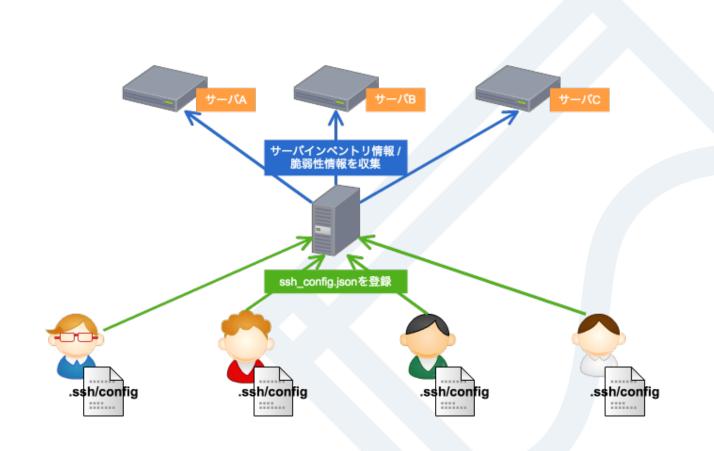
NEXT

ssh_configファイルを集約すれば サーバインベントリ情報も 脆弱性情報も 管理できるのでは?

こんなサーバを



.ssh/configで管理



komad (仮)

- > sconbなJSONをAPI or SCP経由で登録
- > ssh_config + komaでサーバインベントリ情報 を収集管理
- > ssh_config + Vulsで脆弱性情報を収集管理
- > koma run-commandでSSHを通じた外形監視

> ちょっと変わったサーバ管理/監視システムが できそう

.ssh/configで管理する

まとめ

まとめ

- > .ssh/configをsconbでJSON形式にすることで 管理容易性、再利用性を向上
- > .ssh/configやssh_config形式のフォーマットを入力として動くエージェントレスなサーバインベントリ収集ツール koma
- > Vulsの設定の元として.ssh/configの活用
- > ssh_configを活用したサーバ管理/監視システムkomad(仮)の可能性

さっそく **.ssh/configを整理しましょう**_{古い設定、残っていませんか?}

Thank you!

- >Fusicはテクノロジーが
- >好きなエンジニアを募集しています
- >https://fusic.github.io

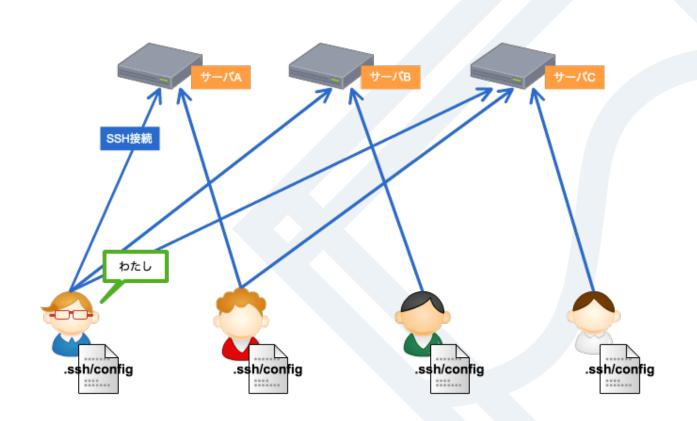
58



NEXT

イメージ (再掲)

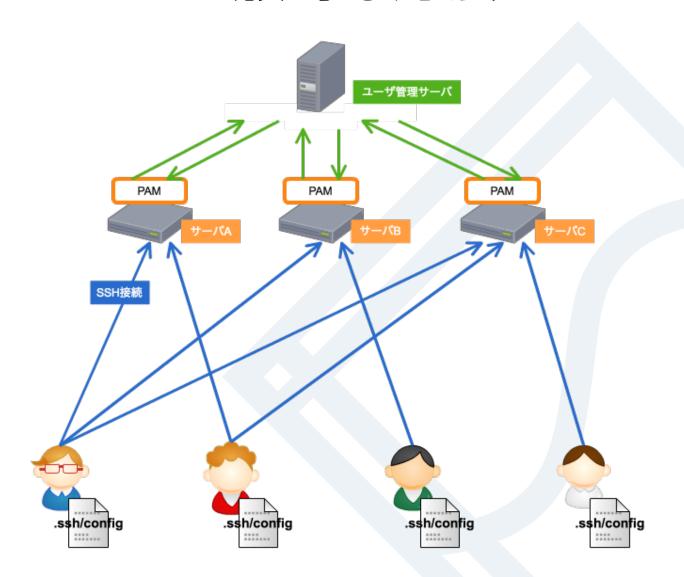
> 複数のプロジェクトの複数のサーバにSSH



サーバのユーザを管理したい

- > どのサーバにどのユーザがSSHログインできる のか
 - > 簡単なものでいい
 - > ある程度でいい
- > もしくはSSHログインできる情報をもらえるよ うにしたい
- > 公開鍵とか秘密鍵とかの管理

一般的な方法



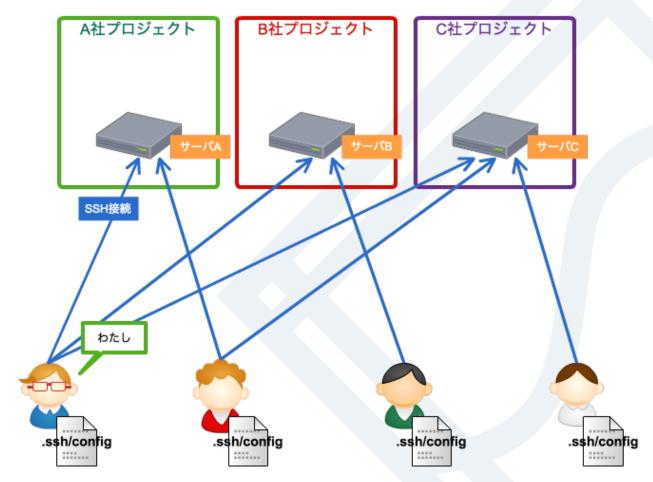
PAM

- > Pluggable Authentication Module
- > PAMを使ってユーザ管理サーバ(認証基盤)に 認証の要求をもらう
 - > ADとかLDAPが一般的らしい
- > ただ個人的にはSTNS推し
 - > シンプル
 - > 設定がTOML
 - > 認証サーバ側をサーバレスにできそう
 - http://qiita.com/shogomuranushi/items/ f09fcdeb146b45452403
 - > 新イケメンことP山さん(@pyama86)が開発している

だかしかし

プロジェクトを横断できない

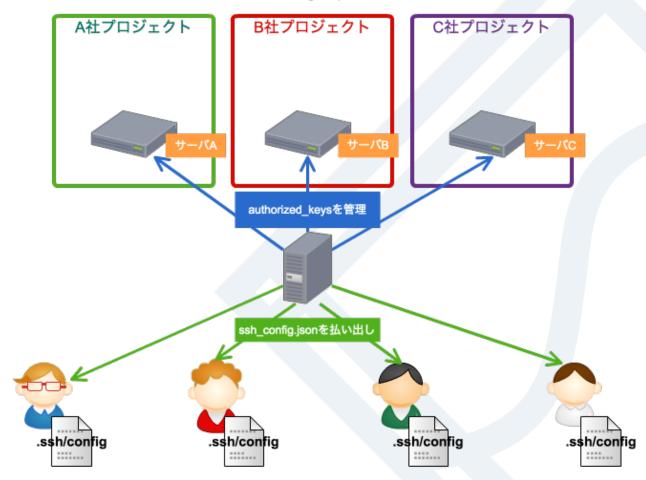
> 完全弊社都合



komad (仮) がssh_configを 払い出したらどうだろう

komad (仮) にもらう

> API経由でssh_config.jsonをもらう



どうでしょう。。?

- > イビツなのは承知
- > komad (仮) サーバの運用。。。
- > 無理があるか。。。

Thank you!

- >Fusicはテクノロジーが
- >好きなエンジニアを募集しています
- >https://fusic.github.io

70